

保護者様

令和4年度学校評価について（報告）

船橋市立豊富小学校
校長 松澤 健二

早春の候、保護者の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施いたしました学校評価につきまして、集計が終わりましたので、御報告いたします。皆様からいただきました御意見につきましては全て、全教職員にて拝読いたしました。内容について共通理解をしながら、次年度の教育活動に生かせる点については、反映していきたいと思っております。残念ながら全ての御意見を反映することはできかねますので御理解をお願いします。また、一部の御意見にのみお答えすることも失礼に当たりますので、本報告書における個々の御意見に対する御返答はいたしかねます。併せて御理解をお願いいたします。

アンケートでは、過分なる励ましのお言葉も多く、職員一同感謝の気持ちを持ちながらこれからの業務に一層邁進していく思いであります。御協力ありがとうございました。

1 学校外部評価（学校評議員による学校評価）

※実施は保護者アンケートの結果を受けて実施していただきました。

（1）集計結果 ※評価の数値は%。百分率については、データ数が少ないため、小数点以下を四捨五入や切り捨てをしています。

	No.	評価内容	4	3	2	1
学校 経営	1	本校は学校の実態に即した教育活動を設定している。	83	17		
	2	本校は教育目標を学校内外に示し、適切に教育活動を行っている。	67	33		
教育 活動	3	本校は児童一人一人を生かした授業実践や少人数授業を行い学力向上に努めている。	67	33		
	4	本校は豊かな心を育てる体験活動を行っている。 (学校行事・児童会行事・地域交流・異学年交流・宿泊学習 等)	83	17		
	5	本校はいじめ防止対策に取り組んでいる。	33	50	17	
	6	本校は相談活動などを通して一人一人を大切にした指導をしている。	50	50		
	7	本校は安全教育や健康教育、食育について指導している。	67	33		
開か れた 学校	8	本校のPTA活動は活発に行われ、学校との情報交換ができています。	67	33		
	9	本校は教育活動についての情報を地域等に提供している。	83	17		
	10	本校は地域人材の活用や関係機関と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	83	17		
その 他	11	本年度の学校評価は適切に行われている。	67	33		
	12(1)	本校の目指す児童像〈本年度の重点〉の達成がなされている 「進んで学ぶ子ども」(知的側面)	67	33		
	(2)	本校の目指す児童像〈本年度の重点〉の達成がなされている 「心豊かな子ども」(徳育的側面)	66	17	17	
	(3)	本校の目指す児童像〈本年度の重点〉の達成がなされている 「じょうぶな子ども」(体育的側面)	67	33		

保護者による学校評価の内容等についての記述

- ・色々な意見があり、次年度改善する為に優先順位を付け行動していくことが重要であり、PTA 本部として協力が必要と感じた。グラウンドの解放は良い案だと思います。
- ・2-6 については、現代の子供たちに共通する課題となっているところ、貴校においても他の項目に比べて「C」回答が多く、同様の傾向があるものと推察します。学校教育目標にある「じょうぶな子ども」の育成に向け、更なる取組を期待しております。

その他自由記述欄

- ・これからも、地域の学校として様々に連携の機会を増やしていければ幸いです。今後とも、よろしく願いいたします。

(2) 考察

集計結果からは、概ね肯定的な評価をいただいたことがうかがえる。

「よくあてはまる。」の高い評価を多くいただいていた、No. 1「本校は学校の実態に即した教育活動を設定している。」、No. 4「本校は豊かな心を育てる体験活動を行っている。(学校行事・児童会行事・地域交流・異学年交流・宿泊学習 等)」、No. 9「本校は教育活動についての情報を地域等に提供している。」、No. 10「本校は地域人材の活用や関係機関と連携し、開かれた学校づくりに努めている。」に関しては、小中合同での遠足や収穫フェスティバル、中学校への体育祭、合唱祭の参加、縦割り班活動などにより高い評価をいただいたと考える。小中一貫教育の研究は今年度で終了するが、来年度も工夫をしながら行事等を計画し、より良く取り組んでいきたい。

「あまり当てはまらない。」の評価をいただいた、No. 5「本校はいじめ防止対策に取り組んでいる。」、No. 12. (2)「本校の目指す児童像〈本年度の重点〉の達成がなされている。「心豊かな子ども」(徳育的側面)」に関しては、道徳の学習を含めた心の成長を促す教育活動を一層充実させていきたい。また、今年度も行った児童が主体的になって、いじめについて考える取組を充実させていきたい。教育相談日やスクールカウンセラーを活用しやすいように周知を続けるとともに、教職員で、共通理解し、注意深く、継続的に行い、安全で安心な学校をつくっていく。

2 保護者による学校評価

(1) 集計結果 ※百分率については、小数第2位を四捨五入した数値です。

1. 本校の取組についてお答えください。

No	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B の割合 (%)	昨年度 のA+B の割合	前年比
①	学校は、教育方針を分かりやすく伝えている。	42.7	51.5	5.8	0.0	94.2	97.9	-3.7
②	学校は、どの子にも分かりやすい学習指導を行っている。	34.0	55.3	10.7	0.0	89.3	94.4	-5.1
③	学校は、豊かな心を育てる活動を行っている。 ※道徳の学習・行事・縦割り班活動 等	62.1	35.9	1.0	0.0	98.1	98.6	-0.5
④	学校は、いじめ防止対策に積極的に取り組んでいる。	34.0	54.4	9.7	1.9	88.3	90.8	-2.5
⑤	学校は、健康増進や体力向上に取り組んでいる。 ※体育学習・行事・歯磨き指導・食育 等	59.2	36.9	3.9	0.0	96.1	95.8	+0.3
⑥	学校は、安全教育や防災教育に取り組んでいる。 ※登下校指導・避難訓練 等	41.7	52.4	3.9	0.0	94.2	97.9	-3.7
⑦	教職員は、子供をよく理解し、適切に対応している。	49.5	39.8	9.7	1.0	89.3	92.3	-3.0
⑧	学校には、子供や保護者の悩みや困ったことを相談しやすい。 ※スクールカウンセラー利用を含む	36.9	51.5	11.7	0.0	88.3	93.0	-4.7
⑨	学校は、出来事や子供達の様子を保護者に伝えている。 ※学校便り・学年便り・冊等	54.4	39.8	5.8	0.0	94.2	97.2	-3.0
⑩	学校は、学校(学年)行事に保護者が参加しやすいように工夫している。	47.6	47.6	3.9	0.0	95.1	97.2	-2.1
⑪	学校は、地域・保護者における子供の見守り活動が充実している。	38.8	52.4	8.7	0.0	91.3	95.8	-4.5

2. お子様についてお答え下さい。

No	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B の割合 (%)	昨年度 のA+B の割合	前年比
①	お子様は、楽しく学校生活を送っている。	58.3	39.8	0.0	1.9	98.1	97.9	+0.2
②	お子様は、学校の行事に進んで参加している。	68.0	26.2	3.9	1.9	94.2	99.3	-5.1
③	お子様は、進んで学習に取り組んでいる。	30.1	45.6	21.4	2.9	75.7	78.9	-3.2
④	お子様は、思いやりの心が育っている。	40.8	54.4	4.9	0.0	95.1	94.4	+0.7
⑤	お子様には、何でも話せる友達がいる。	36.9	51.5	10.7	1.0	88.3	87.3	+1.0

⑥	お子様は、進んで運動し、体力が高まっている。	35.9	34.0	28.2	1.9	69.9	76.8	-6.9
⑦	お子様は、「英語」の授業に意欲的に参加している。	28.2	55.3	12.6	3.9	83.5	-	

3. 御家庭での様子についてお答えください。

No	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B の割合 (%)	昨年度 のA+B の割合	前年比
①	お子様は、基本的な生活習慣が身に付いている。	25.2	46.6	24.3	2.9	71.8	71.1	+0.7
②	お子様は、進んで挨拶をする習慣が身に付いている。	31.1	44.7	23.3	1.0	75.7	81.0	-5.3
③	保護者様は、お子様が家庭での約束を守るように声掛けをしている。	47.6	46.6	5.8	0.0	94.2	97.9	-3.7
④	保護者様は、お子様の良いところを見付け、ほめている。	34.0	57.3	7.8	0.0	91.3	89.4	+1.9
⑤	保護者様は、お子様の歯磨き指導や虫歯治療を行い、積極的な口腔衛生に心掛けています。	44.7	49.5	4.9	1.0	94.2	89.4	4.8

4. 新型コロナウイルス感染症対応についてお答えください。

No	項目	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)	A+B の割合 (%)	昨年度 のA+B の割合	前年比
①	学校は、短縮日課の実施や日課時刻の変更に関する連絡を適切に行った。	66.0	34.0	0.0	0.0	100.0	100.0	±0.0
②	学校は、感染症対策を適切に行っている。	44.7	48.5	5.8	0.0	93.2	97.9	-4.7

(2) 考察

「1」の本校の取組については、A評価とB評価を合わせた割合が、全ての項目で88%以上であり、高い評価あったが、昨年度は、全ての項目で90%以上であったため、90%未満であった項目について触れる。

1-2のわかりやすい学習指導については、担任と専科で1つの学級を2つに分けての少人数指導やチームティーチング(TT)を利用した個に応じたきめ細かな指導を行ってきたが、今後も粘り強く継続して取り組んでいく。来年度は、新しい体制に応じるとともにクラスの実態に合わせた効果的なやり方を考えていく。また、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末等のICT機器(情報機器)を使った学習については、校内職員研修や教員間の情報共有を密に行い、より効果的で子供たちの学力向上につながる利用方法を模索していきたい、そして、ICT支援員の配置により、ICT機器活用の支援を子供たちに直接行う場面も設けてきたが、引き続き研修や情報共有、ICT支援員の活用を行い、より効果的で子供たちの学力向上につながるよう検討していく。

1－4のいじめ対策についてであるが、本校では、年3回の学校生活アンケート（いじめに関する内容）を行い、いじめの早期発見に努めているところである。市内では年2回の実施の学校も多いが、本校ではより短いスパンで子供たちの様子を把握したいとのことから、昨年度より年に3回実施することとした。いじめ対策の基本は、未然防止、早期発見、早期解決である。1－7、1－8の項目もC評価がやや多いため、教育相談日やスクールカウンセラーを活用しやすいように周知を続けるとともに、道徳の学習を含めた心の成長を促す教育活動を一層充実させていきたい。また、今年度も行った児童が主体的になって、いじめについて考える取組を充実させていきたい。いじめが起こった際には、本校のいじめ防止基本方針に則って組織で対応していきたい。以上を教職員で、共通理解し、注意深く、継続的に行い、安全で安心な学校をつくっていく。

「2」の子供の様子に関する項目では、2－3と2－5、2－6のC評価およびD評価の割合が多い。

2－3の「進んで学習に取り組む」ことは、子供たちが学習に対して「わかる、できる喜び」を感じられることが要因と考えられる。そのために、前段でも述べたような基礎的・基本的な学力を身に付けさせるための学力向上の手立てと前学年での未習熟の内容を身に付ける手立てを講じていく。5年間の小中一貫教育の研究で培った「授業づくりの視点」をさらに推進していく。また、家庭学習の手引きを元にした家庭学習の充実をさせていきたい。

2－5の「お子様には、何でも話せる友達がいる。」は、小規模校の弱みであると言えるだろう。こればかりは「何でも話せる友達を作りなさい。」という声掛けはできないが、今年度は、縦割り活動等によってできるだけ多くの関わり合いを持たせたり、行事など特別活動を充実させて学級内で休み時間や学習以外の関わり合いを多く設定したりするなどの工夫をした。その中で、少しでも多くの児童の人間関係が良好になれば幸いである。昨年度より、わずかだが良い結果となっている。

2－6の運動の日常化については、昨年度も評価が低かったが、今年度は更に低い評価となってしまった。コロナ禍の影響が色濃く出ているとはいうものの、体力向上は、子供たちの心身の健康につながるため、正課時体育を充実させ子供たちに運動の楽しさを味わわせると共に、朝ランニングや業間休みおよび昼休みの外遊びの励行などを通して、運動の日常化を粘り強く継続して取り組んでいく。また、校内マラソン大会や市の陸上大会、駅伝大会等では、学校体制で取り組んでいく。

「3」の御家庭での様子に関しては、3－1、3－2が7割台であった。学校でも基本的な生活習慣、特に「時間、清掃、あいさつ」の大切さについて、教員が率先垂範するとともにさまざまな機会をとらえ、児童に啓発していく。ただし、このことは、学校と家庭の連携が必要と考える。学校から家庭、家庭から学校への相互の情報共有を行い、学校からと家庭からの双方の教育を粘り強く継続して取り組んでいく。

また、「4」の新型コロナウイルス感染症対応についてお答えくださいますの質問についても、昨年度と同様に肯定的評価が多かった。今後も丁寧な感染防止対策と情報提供を続けていきたい。また、具体的な教育活動については、教育委員会が出している「学校生活における感染症対策マニュアル」に則りながら、学校の実態に合わせて考えていく。ただ、来年度は、感染対策を講じながらもいかに通常の教育活動に戻していくかという視点で取り組んでいく。

※質問5以降は別紙をご参照ください。